

不動産公売を行います

市税滞納処分により差し押さえた不動産を、次のとおり公売します。詳しくは、お問い合わせください。

■問い合わせ 本庁納税課滞納対策室（内線 345）

売却区分 番号	所在地	地 目 建物種類	登記簿地積	見積価格 (最低落札価格)	公売保証金
1	水沢区佐倉河字慶徳 地内	宅地	212.52 ㎡	5,060,000 円	506,000 円
		居宅（築 30 年）	1 階 90.23 ㎡ 2 階 44.71 ㎡		
	※所有者とその家族が居住しています				
2	江刺区梁川字下芦沢 地内	畑、雑種地、山林 外	54,550.00 ㎡	6,800,000 円	680,000 円
		倉庫・事務所（築 38 年）	238.83 ㎡		
		（附属建物）乾燥場 10 棟 ※ 1 棟当たり 194.00 ㎡	1,940.00 ㎡		
	※賃貸借契約あり。賃借人が使用しています				
3	水沢区字大畑小路 地内	宅地	148.76 ㎡	7,080,000 円	708,000 円
		居宅（築 13 年）	1 階 36.02 ㎡ 2 階 28.98 ㎡		
	※賃貸借契約あり。賃借人とその家族が居住しています				

■入札日時 11 月 1 日(日) 区分 1＝午後 1 時半～、
区分 2＝午後 2 時半～、区分 3＝午後 3 時半～

■場所 本庁 2 階 202 会議室

■売却決定日時 11 月 8 日(日) 午前 10 時

■入札に必要なもの 本人（代理人本人）であることを
確認できるもの（運転免許証など）、印鑑、公売保
証金、代理人の場合は委任状、農業委員会が発行す
る買受適格証明書（区分 2 のみ）

■その他

◎区分番号ごとの一括公売です。地番ごとの売却は

しません

◎入札前に滞納市税が完納された場合は、公売を中
止します

◎公売財産の詳しい内容は、納税課滞納対策室で確
認してください

◎納税課滞納対策室窓口で配布する入札心得書を入
札前に必ずご覧ください

◎買受適格証明書は農業委員会に交付申請が必要と
なります。交付までに 2 カ月以上かかる場合があ
りますのでご注意ください

国有財産の売払いを行います

岩手労働局では、厚生労働省の所有する国有地について、一般競争入札による
売払いを行います。

■所在地 水沢区中上野町 121 番 8

■物件 宅地 182.33 ㎡、住宅 49.68 ㎡、物置 3.3 ㎡
※越境物解体撤去特約あり

■入札日時 9 月 26 日(日) 午後 2 時～（30 分前から受付開始）

■場所 水沢公共職業安定所 会議室

■その他 詳細は岩手労働局ホームページ（<http://iwate-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>）に掲載

■問い合わせ 岩手労働局総務部総務課会計第三係
（☎ 019-604-3001）



山村活性化支援対策の取り組み

市では、国の山村活性化支援交付金を活用し、「振興山村」指定の衣川区における農
林水産業を核とした地元の所得・雇用の増大に向けた取り組みを行っています。今回は
28 年度の取り組みを公表します。

■事業名 農山漁村振興交付金（山村活性化
支援対策）事業

■事業期間 28 年 4 月 22 日～29 年 3 月 31 日

■事業目的 地域の所得を向上させるため①農
産物・地域資源のブランド化 ②関係者の組織
化 ③都市部との交流に取り組むこと

■事業の評価 ◎物産展などで衣川野菜の認知
度を高め、農産物を販売し農家所得を上げた
◎衣川の観光施設と地域の連携による農産物
の販売と農村体験希望者の受け入れ態勢がで

きた◎エゴマの葉をお茶に加工す
る技術を習得し、また、カボチャ
のランタンづくりを体験メニュー
に取り入れたことなどにより、地
域資源を生かした取り組みを地域
全体の活力向上につなげることが
期待できる

■問い合わせ＝衣川総合支所産業
振興課（内線 217）

ころもがわ田舎
暮らしマニュアル



いわて銀河プラザ

取り組み内容

地域資源を活用するための合意形成、組織づくり、人材
育成

◎ブランドづくりのための人材育成講習会（エゴマ栽培
など 17 回実施、170 人受講）

◎講演「衣川の商品づくりとブランド構築」6 月 16 日、
「衣川の商品づくりとブランド構築を考える」12 月 19 日
講師：中小企業診断士 佐藤 卓 氏

地域資源の消費拡大や販売促進、付加価値向上などを図
る取り組み

◎マーケティング調査 いわて銀河プラザ（東京：9 月
2 日～5 日）、フードマーケットフジサキ（仙台市：10
月 22 日～23 日）

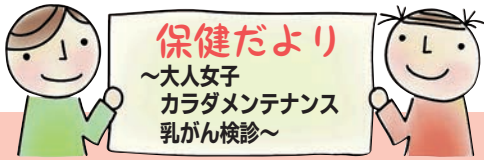
◎ホームページ「プチ・フォレット衣川」作成
<http://koromogawa.com>

◎広告「関東・東北じゃらん 8 月号」（4 ページ掲載）

◎ころもがわ田舎暮らしマニュアル（入門編）作成

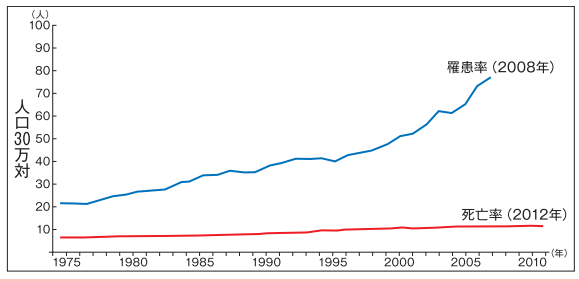
◎桂枝太郎「衣川区紹介シナリオ」制作と講演
（ホームページ「プチ・フォレット衣川」参照）

◎農村体験モニターの受け入れ（24 人）



■日本人女性に急増している乳がん

乳がんは、日本人女性がかかるがんの第 1 位で、約
11 人に 1 人が乳がんと診断されています。乳がんの
罹患率は増加の一途をたどっており、女性の 30 歳か
ら 64 歳では死亡原因の第 1 位です。平成 28 年度、市の
乳がん検診を受けた人は 3,051 人で、11 人に早期がん
が見つかりました。



（資料：国立がん研究センターがん対策情報センター）

■日本女性における乳がんの年齢調整罹患率・死亡率の推移

■40 歳を過ぎたら 2 年に一度乳がん検診を受けま しょう

20 代から月に一度の自己触診を心掛けましょう。
自分の乳房の状態を知っておくことで小さな変化に
気付くことができます。自己触診で異常を感じない
場合でも、2 年に一度は検診を受けましょう。本年度
40 歳の市民は無料で受けることができます。

検診ではマンモグラフィーを使い、X 線で乳房を
撮影します。透明な板で乳房を挟んで平たく伸ばす
ことで、乳房の中をはっきりと撮影することができ、
しこりになる前のがん病変を見つけることができま
す。乳がんは、早期に発見し治療した場合、生存率が
上がります。症状がないときにこそ乳がん検診を受
けて、健康管理に役立てましょう。

■問い合わせ＝水沢保健センター（☎ ☎ 4511）